

(様式3)

## 自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>			
<b>1.理念と共有</b>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>運営理念を作り、個々の価値観を尊重しつつ日常生活の中で、地域社会との交流をふかめられる様に努める。</p>	<p>住み慣れた地域で、できる限り地域の行事に参加する等して楽しく生活出来るように支援し基本理念にも組み込んでいる。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>玄関と各フロアの目の付くところに掲げている。又カンファレス等でも話し合い取り組みに関して意見を出し合っている。</p>	<p>毎日の朝の申し送り時に、まず第一にみんなが、お互い利用者、職員等がなごやかに地域と共に歩んで行くことを再確認している。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>入居者説明し家族会等に於いても話し意見を聞いている。運営推進委員会を設け地域にも浸透する様努めている。</p>	<p>家族会、運営推進委員会、誕生会、クリスマス会、夏祭り等を行う際に家族の参加を促している又、グループホームの暮らしぶり等はバイクンク等で家族、お友達、地域の人たちと交流している</p>
<b>2.地域との支えあい</b>			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>行事への参加呼びかけ等をしている。出退勤時に挨拶等をし印象を良くもって頂ける様努力している。</p>	<p>毎朝近所のおじちゃんが寄って来てコーヒーを飲んで、おしゃべりして帰っていく。又、近所の民生委員による抹茶サービスのボランティア、夏祭り、秋祭り、宮木野のつどいなどに利用者に参加している。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域行事への参加(夏まつり等)している。自施設の行事参加への呼びかけを行っているし、地元小学校の生徒が何度か訪問してくれ、ゲーム等を披露してくれる。</p>	<p>夏祭り、クリスマス会等、地域の人々に連絡をとり参加して頂いている。ボランティアの方々にも参加して頂いている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		<p>老人会を通して高齢者の介護予防体操の指導に行く様話し合っている。</p>
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		<p>在宅生活に少しでも近づける様、又細かなケアが出来るように努力をしている。又、役員会、家族会、運営推進委員会でも話しを出して協力を得たい。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている</p>		<p>今いっそうに会議を通しての地域への浸透、多くの意見が出るような働きかけを行っていきたい。</p>
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		<p>地域の協力が少ないので、もっと地域社会に働きかけて行くよう努力する。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		<p>権利擁護委員会を20年4月1日に立ち上げています。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		<p>20年4月1日に立ち上げ、勉強会を実施している。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居の際に利用者や家族等に十分な説明を行い、契約を結んでおり文章にも記している。利用者と家族の思いを出来るだけ詳しく聴き理解する様に努めている。</p>		<p>利用者側に十分理解していただけるまで、入念に説明する。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者に何がしたいのか希望を尋ね、その意見を尊重し参考にし、取り入れている。</p>		<p>あったか相談員、民生委員の方々が適宜訪れ、職員も交えて利用者と話す機会を作り、よりよいサービスを目指している。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月のお便りにおいて、生活の様子や金銭管理などを職員の名前を示し、報告している。</p>		<p>介護計画兼報告書にて毎日の状況を報告する、その他状態変化に応じて面会時や電話等で報告している。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>職員への苦情等は事務所で受付を行い外部の専門家3名による対応ができるようにしている。定期的に家族会を開催し、希望や苦情などを聴いて対応している。</p>		<p>勤務中の職員も家族とゆっくり話ができるような雰囲気作りを心掛けている。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月一回第3水曜日に業務カンファレンスを行い、職員の意見を聴いている。意見箱も事務所に設置している。</p>		<p>月1回の業務カンファレンスやフロアリーダーのみのカンファレンスにて運営に関する再確認について行っている。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>家族の要望に応える為、利用者の状態に合わせて人員配置を行い、勤務体制を取っている。</p>		<p>フロア移動については、スタッフは快諾し移動している。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>一度に大勢の移動はせずに利用者への影響を及ぼさない程度に徐々に移動を行っている。</p>		<p>認知症者の特性の理解に努め、管理者は随時職員に指導している。職員異動についても利用者との関係を考慮し徐々に行うようにする。管理者は職員が定着できるよう随時相談に努めている。</p>
<p><b>5.人材の育成と支援</b></p>			
<p>19</p> <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修の機会があれば全ての職員に書面で目を通してもらい参加希望者はその旨を伝え運営者は出来るだけ参加してもらうよう勧めている。普通救命講習会、消防設備点検講習に取り組んでいる。</p>		<p>今後も介護に関する知識や実技等の教養を深めていけるように積極的な参加を促していきたい。</p>
<p>20</p> <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>月1回市においてグループホームの連絡協議会があり職員1～2名が参加しており、活動における具体的な内容について話し合っている。</p>		<p>勤務状態に応じて食事会など他施設とのコミュニケーションを図り情報交換が出来るような環境を作りたい。</p>
<p>21</p> <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>勤務状態により参加しにくいカラオケや食事に行くなどストレス解消に努めている。</p>		<p>親睦の機会をもっと作って行きたい。現在は食事会(年回 3回程度の実地)</p>
<p>22</p> <p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>研修の受講の推進を行う。個々の意見を聞く体制をとり、各々の仕事に対する思いを聞く機会を設けている。</p>		<p>研修については各々の能力の応じた研修の受講を促し受講出来る様に勤務調整をする、カンファレスにおいて個人の考えを聞く機会を設けている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>本人の状態や気持ちを理解し乍、安心感を与え、信頼を得るよう努力している。</p>	<p>入居面接時より信頼関係が構築出来るよう、出来る限り利用者とのコミュニケーションをとり目配りを行って様子観察の行っている。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>面会時等に家族の要望を聞き入れる対応方法を説明して家族さんに理解頂いている。</p>	<p>家族との信頼を得ることの大切さを認識して相談に出来る限り応じている。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人や家族の要望を聞き入れ必要なサービスを提供している。よりその人らしい生活の支援を心掛けています。</p>	<p>アセスメント時に再確認して、何が最も必要かを話し合っている。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入所前、本人や家族が施設を見学する。カンファレスにて本人の家族の希望、サービスの方法を話し合う。</p>	<p>体験入所、見学などすべての対象者に行っている。</p>
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>同じ目線にて寄り添い、話しやすく信頼関係が作れる様、努力する。利用者の方からのアドバイスも受ける。</p>	<p>共に生活するという意識を持って日々、かかわっています。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 利用者を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	面接時に於いて家族の利用者への思いを聞き入れ、共に話し合える様 関わっている。		面接時には必ず、現状報告をして家族と利用者との思いを伝え、信頼関係を築いている。
29 利用者との家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	施設行事には家族へも声かけをし共に楽しんで頂き親しみを深める様にしている。		誕生日会、夏祭り等の家族の参加を待っている。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援  利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	手紙、ハガキを用いて、親しみの関係が続けられる様にしている。年間行事への参加を呼びかけている。		誕生日会、夏祭り、クリスマス会等は利用者の家族、お友達にも参加して頂いています。
31 利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	リビングでの食事、雑談、レクなどへ参加して頂いている。話題を提供し楽しい一時を過ごされる。		利用者間のコミュニケーションが図られる様、座席、職員の介入等状態を観ながら行っています。
32 関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後の利用者の状態は気にかけている。お見舞いなどにも行く場合がある。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1.一人ひとりの把握</b>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人ならびに家族からの希望を聞かせてもらい、個々の意向は取り入れている。意見が聞かれない場合はその日のその時の思いを受容し、少しでも近づけるように本人の反応を見ながら検討している。</p>	<p>利用者の思いを尊重し、個人個人の希望をできる限り取り入れ、本人中心の介護のあり方に取り組みたい。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>初回面接や家族の面接のある際には、生活歴やこれまでの暮らしぶり等を尋ねたり、積極的に利用者からのお話をきいて把握している。</p>	<p>好きなことが出来る様に努め、一人一人の意欲を引き出していきたい。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>日課表、活動記録を基に一人一人の生活ぶりを把握している。</p>	<p>毎日カンファレンス、介護計画モニタリングを実施し、スタッフ全員が現状を把握できるよう努めています。</p>
<b>2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者や家族の想いを尋ね、課題については関係者と本人、家族が話し合いをしてケアのあり方を決定して、介護計画をつくっている。</p>	<p>利用者に希望があれば、できるだけ叶えられるよう、その都度話し合っケアプランに反映している。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>転倒・病気等、入院治療後のケアについては、医師の指示のもとでアセスメントを作成し、その都度、現状に応じたケアプランを作成。</p>	<p>月1回ケアカンファレンスを行っている。変化が生じた時はカンファレンスを行い必要なケアに取り組む。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、話す内容、行ったケアや気づきを記録し、情報を共有している。変わった点等は詳しく記入し、ケアのあり方について話し合い実践している。		昔の仕事の話等をすることによって、個の存在感を出し、生き甲斐につなげる様にしていく。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	事業所の多機能性を活かした支援  利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	個々の能力に合った支援を行っている。本人が出来る事を把握し、意欲を引き出せる様、支援している。		地域行事に頻回に参加出来る様な楽しみを持ってもらうよう努める。
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	地域資源との協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	身寄りのない方等、民生委員と情報を交換している。市のあったか相談員の方2名が毎月2回訪問され、共に話を交わされたり、手作業等を一緒にして過ごされる。		ボランティアや地域の民生委員さんの協力を得て、市・地域の行事参加に努める。
41	他のサービスの活用支援  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	利用者、家族等の意向に応じ、病院や他施設サービス事業者等と話し合い、サービスを利用する為に連絡をとる等、支援している。		地域への配食サービスや体験入所、体験利用等の実施など。
42	地域包括支援センターとの協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	高齢者の権利擁護についての勉強会を実施し、委員会を設けて、市の地域包括支援センターとの連携情報交換を実施している。		職員も利用者や家族等の意向を受け入れるために、権利擁護について話し合っていきたい。人権擁護委員会、21年4月1日立ち上げ。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診の時は家族との話し合いで、本人かかりつけ医の受診又、協力医院のみのクリニック（主治医）に定期受診、月2回の往診をしてもらっています。		急変時には速やかに協力医院に家族の同意を得て相談しながら進めている。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医院が認知症の専門医であり、家族・職員共の相談に応じてもらっている。		専門医の受診に当たっての家族の積極的な協力が必要であり、職員と医者、家族と共に努力している。
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	介護職員は、利用者の毎日の状態を看護職に報告するが、変化があればその都度指示を仰ぐ。		平成19年より月2回の定期往診と定期的に看護師が巡回している。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時から医療機関と情報交換を行っています。早期退院に向け、安全なケア方法を話し合う。		入院時には施設でも生活状況、ADL状況を連絡し、入院先からは現状の報告も受けている。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	かかりつけ医に報告相談し本人家族の意向を尋ね出来る限り希望に添って、医師の投薬をもとにすすめる。		施設での対応が難しくなった場合については、家族に説明をし、了承を得る。全員で方針を共有する。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	施設として可能な事、不可能な事に関しては当初から話し合っており、協力医院と連携をとりながら、利用者の変化に対応していく。		体調に変化があれば、その都度話し合い、変化に備えて準備を行っていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 住み替え時の協働によるダメージの防止  利用者が自宅やグループホームから別の 居所へ移り住む際、家族及び本人に関わる ケア関係者間で十分な話し合いや情報交換 を行い、住み替えによるダメージを防ぐこ とに努めている	移住の際には、施設での生活が家族等に理解で きるよう説明し、利用者にとって最も安心できる 様な環境を考えていくようにしている。		家族、他の関係者からの情報収集し、ダメージ を少なくする為、適切なケアをしていく。
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1.その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50 プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	プライドに配慮した声かけを行い、視線を同じ にして安心できる様な対応をしている。記録には 行動や暮らしぶり等をそのまま記し、勝手に尊さ を感じない内容を記さないようにする。		利用者本人より個人情報の口外がたまにあるの で、それ以上広がらないように注意し見守る。
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援  利用者が思いや希望を表せるように働き かけたり、わかる力に合わせた説明を行 い、自分で決めたり納得しながら暮らせる ように支援をしている	普段利用者同士の会話の中から希望や願い等、 話されていることに傾聴、話し方や意思表示の仕 方で好みや希望を把握している。表情や反応も注 意深く観察している。		受容の気持ちを持って向き合っている。 決められない方に対しては、助言を行い決めて頂 くことにしている。
52 日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切にし、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	職員の都合や業務に追われる事が多い中。一つ でも多く長く利用者に合わせるよう努力してい る。		居室での摂食、決められた時間以外の摂食等 については、当人の思いに応じた対応をしている。
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53 身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	馴染みの店がある利用者には家族の協力を得て いる。施設には毎月訪問美容があり意向を聞きな がら、美容、散髪をおこなっている。		利用者が望めば、外出時、又は来客のある場合 は、女性に化粧をしてあげたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		<p>調理補助、片付け等、利用者の能力に応じ声かけし一緒に行っている。月一度のバイキングを利用者の 好みのメニューを作っている。 誕生会には家族にも参加を呼びかけている。</p> <p>バイキング、誕生会 月会の継続 利用者の希望もたずね、まかないメニュー等も行い好みの物を提供出来るよう努めている。</p>
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		<p>買い物代行等で好みの物を購入出来るよう対応している。個人的に家族が持参される場合も状態に応じて管理している。</p> <p>外出の頻度増やして、利用者の好みのも物を一人一人のパターンに合わせて楽しめるよう支援していききたい。</p>
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		<p>個々の排泄パターンを把握し個人の状態に合わせて声かけを行っている。排泄確認も同様、個人の状態に合わせて行っている。</p> <p>機能低下に伴う失敗に対しプライドを配慮した処理に努め、支援していく。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		<p>通常 週2回入浴を設定しているが希望、必要に応じ随時入浴出来る様にしている。</p> <p>個々のペースに合わせた対応に心掛けている。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		<p>個々に状態に応じいつでも休める様にしている。フロアで行うレク、運動等について、声かけにて参加して頂いている。</p> <p>加齢に伴う体力の低下を配慮し、日中横になる時間も設けられるよう支援している。</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>個々の利用者の在宅時の生活の様子をコミュニケーションにより聞き出し、余暇に取り入れている。菜園の世話、プランター、植木鉢の世話、外気欲、散歩、外出等状況に応じて行っている。</p> <p>家族との外出に向けての支援やハイエースでのドライブ、お花見、買い物、コンビニへちょっと行くなど個別に対応する。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者毎に手持ち金、事務所管理と差はあるが、持って頂いています。立替払いという利用者もありますが、必要範囲内の買い物をするよう支援しています。		買い物時にはスタッフが必要範囲内で買い物をするよう支援している。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望を聞き、職員が話し合った上で買い物に同行している。家族にも協力の協力を得て、安心して過ごせるよう支援している。		外出の機会が増えるよう又、個々の状況に合った対応が出来るように話し合いをして実施している。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	行事として、ドライブ、遠足等を行っている。家族の協力を得て墓参り、自宅へ帰るといった利用者もあります。		家族の協力を得て個別にモーニングに行ってみたり墓参りは家族と共に出かけられるよう支援している。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	能力に応じ希望があれば対応している。		可能な利用者については電話で連絡をとる場合もあり、満足が得られるよう対応している。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に面会出来るよう心掛けている。時間に関しても柔軟に対応している。面会時には現状を話し次回の面会の依頼も行っている。		気軽に訪問出来るような雰囲気造りに心掛けている。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	高圧に関する勉強会を行い、スタッフが認識するよう努めている。各々のケアについても、その人らしさを考え、関わるよう話し合い取り組んでいる。		その人らしさを考える生活を支援している。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各居室の鍵はかけず、利用者が出入り自由に行っている。ベランダ、屋上等へは一緒に同行して行き自由に過ごせるよう支援している。		玄関の施鍵は利用者の特性上やむを得ないと思うが出来れば開鍵したい。
67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の物品の状況については、把握出来ている。		心身機能については、毎月のカンファレスで話し合い状況・状態の把握に努めています。
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険物は預かり状態に応じて渡しています。		クスリ、刃物は施鍵保管している。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	各々の状況の把握と介護に気を配っている。夜勤時には巡回を2時間おきに行っている。		状況の把握に努め、各々の対応をスタッフ全員が周知している。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時のマニュアルを作成し、職員は応急手当等の訓練をしている。		訓練し周知に努めています。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	訓練を行っています。年2回の防火訓練も実施しています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		<p>小さな変化についても報告、相談をするようにしている。</p>
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		<p>新しく処方された薬剤については全員が分かるよう記録し伝えている。連絡帳等にて対応している。</p>
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		<p>うがい、歯みがきの実施をしている。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		<p>状態確認表に記録、変化があればすぐ報告相談しています。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルの作成。手洗い、うがいの励行し、感染症予防。インフルエンザに関しては予防接種の実施。		感染症について勉強会をし、知識の向上に努める。
79	食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	定期的に調理用具の洗浄・消毒、台所を整理整頓し、清潔に保つようになっています。新鮮な食材を使用し調理する。食器は毎食後乾燥機を使用し消毒を行う。		台所も日々の清掃や食材のチェック、先入れ先出しを行い鮮度には注意している。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関・施設周辺等に花を植えるなど、誰でも入りやすいようにしている。		施設周辺の整理、四季の草花等を植えている。
81	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	自然光を取り入れ、玄関・リビングには季節の植物・花を置く。周囲は田んぼなので、おのずと季節感を感じられる。		利用者の思いを尊重し、個人個人の希望をできる限り取り入れ、本人中心の介護のあり方に取り組みたい。作品の掲示、又季節の草花のプランター栽培等を行って、野菜は毎日の料理に使用している。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファや和室があり、利用者さんの思い思いの空間で過ごせる。		思い思いの場所で過ごせる時間、又空間を設けている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自室には、自宅で使用していた物の持ち込みが可能で使い慣れたものを活かして家庭的な雰囲気になるよう配慮している。</p>		<p>なじみの家具、食器等を持参してもらっている。</p>
<p>84</p> <p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>適度な換気に留意し、においが気になる場合は消臭剤の使用、温度計を設置し、調節している。</p>		<p>空調管理をし、衣服での調整等個別に対応している。</p>
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>85</p> <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>個々の機能に合わせ、杖・老人車・手すりを利用いただいています。必要に応じて見守り、介助等を行っています。</p>		<p>個々の身体機能に合わせ必要なものを用意している。</p>
<p>86</p> <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>個々の理解力を把握し、それぞれにあった方法を考え、混乱しないよう気を付ける。</p>		<p>状態に合わせ個々に対応しています。</p>
<p>87</p> <p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>ベランダを利用し、外気浴を楽しめるようにしている。</p>		<p>ベランダを活用している。洗濯干しプラント栽培外気浴等。</p>

(  部分は第三者評価との共通評価項目です )

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない  意思疎通困難な方には子ども喜怒哀楽が表現しづらいので表情から読み取る事が大事だと思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・季節に応じた壁画等
- ・各行事
- ・体操、音楽療法等